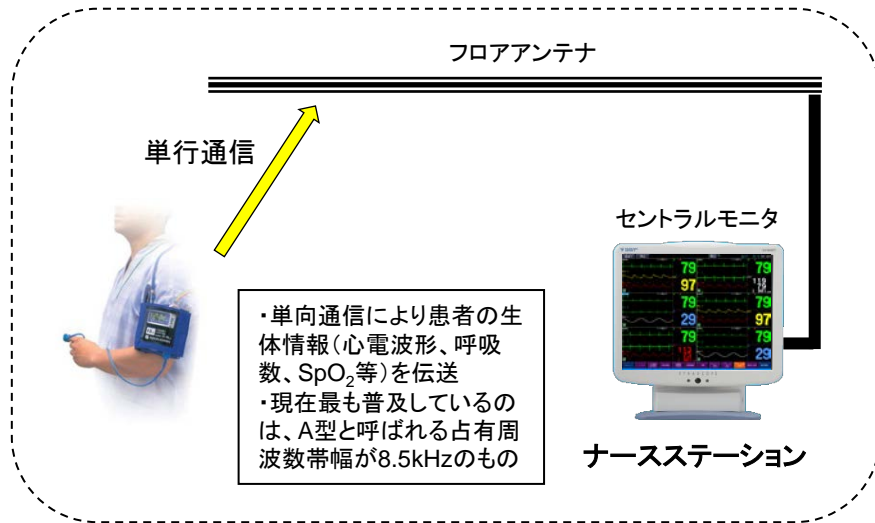


特定小電力無線（医療用テレメーター）の高度化について

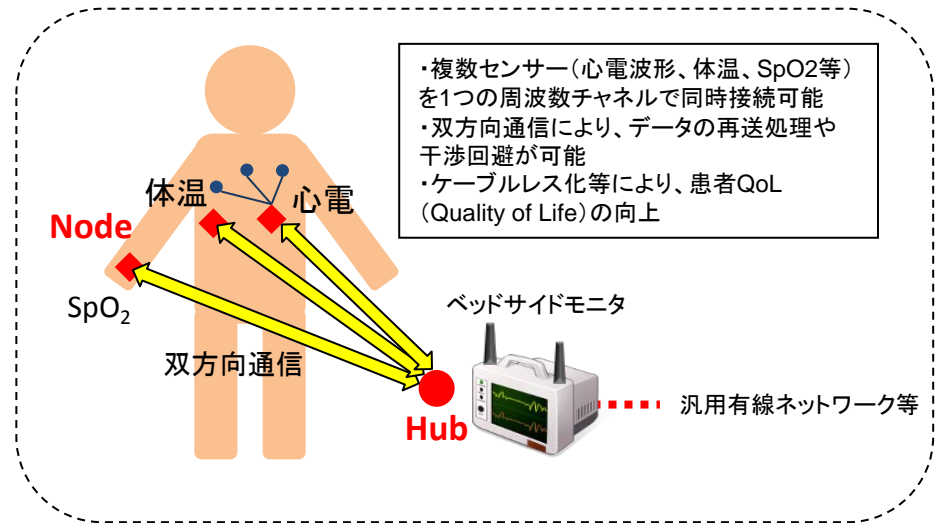
検討の背景

- 現在、400MHz帯を利用した医療用テレメーターは、心電図などの生体情報を離れた場所でモニタリングできる機器として医療機関において広く使用されている。
- 一方、人体周辺における無線通信ネットワーク(BAN: Body Area Network)の通信規格(IEEE 802.15.6)の標準化が2012年2月に完了し、今後当該規格を利用したシステムの普及が想定されている。
- 現行の医療用テレメーターの制度は単方向通信のみに限られているが、BANでは双方向通信による各種制御(再送処理、干渉回避等)が可能となることや、周波数の繰り返し利用による周波数利用効率の向上など様々なメリットが見込まれる。
- 今後医療分野における高度な無線通信技術の活用が期待されており、医療用テレメーターの高度化を図るため技術的条件の検討が必要である。

現行のシステムの概要



IEEE BANの概要



医療用テレメーターとしてIEEE BANの導入に向けた技術的条件の検討